

資料 4

平成 26 年度千葉県公立高等学校入学者選抜の検査の内容等について

千葉県教育庁教育振興部指導課

注意 この内容は平成 25 年 6 月末現在の集計結果であり、今後、平成 26 年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項で正式に定めます。

1 前期選抜

全日制（地域連携アクティブスクールを除く。）及び定時制の課程のすべての学校・学科で実施します。

この選抜においては、各高等学校は、第 1 日に 5 教科の学力検査を実施し、第 2 日に面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査の中から、学校の特色に応じて 1 つ以上の検査を実施します。そして、調査書、志願理由書等の書類の審査、学力検査の成績及び各高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

学力検査において、国語の聞き取り検査、英語のリスニングテストを実施します。

(1) 前期選抜枠

選抜枠は、各高等学校の普通科では募集定員の 30%以上 60%以内、専門学科では 50%以上 80%以内の範囲から各高等学校が定めており、その割合 (%) を別表に記載してあります。

なお、県立関宿高等学校は、特別入学者選抜を実施するため 20%程度となります。

選抜枠の割合ごとの学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

前期選抜枠	全日制の課程 128校209学科 (128校208学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
80%	43校 84学科 (43校 84学科)	2校 3学科 (2校 3学科)
75%	5校 11学科 (4校 10学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
70%	1校 2学科 (2校 3学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
60%	106校110学科 (106校110学科)	14校15学科 (13校14学科)
50%	1校 1学科 (0校 0学科)	2校 2学科 (3校 3学科)
20%程度	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

(2) 各高等学校において実施する第2日の検査の内容

各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施します。各高等学校において実施する検査は別表のとおりです。

ア 各検査を実施する学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

前期選抜の 第2日の 検査内容	全日制の課程 128校209学科 (128校208学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
面接	89校145学科 (87校140学科)	17校20学科 (17校20学科)
集団討論	0校 0学科 (0校 0学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
自己表現	38校 54学科 (37校 53学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
作文	13校 17学科 (12校 16学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
小論文	1校 2学科 (2校 3学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
適性検査	23校 35学科 (24校 36学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
学校独自問題 による検査	1校 1学科 (3校 4学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
その他の検査	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

イ 実施する検査の数

() は昨年度のデータ

前期選抜の 第2日の 検査の数	全日制の課程 128校209学科 (128校208学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
一つの検査	101校163学科 (102校162学科)	14校17学科 (14校17学科)
二つの検査	33校 46学科 (33校 46学科)	3校 3学科 (3校 3学科)
三つの検査	0校 0学科 (0校 0学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

一つの学校で学科により検査の数が異なる学校が6校(7校)あります。

2 後期選抜

全日制及び定時制の課程のすべての学校・学科で実施します。

この選抜においては、各高等学校は、5教科の学力検査を実施し、面接等の必要に応じた検査を実施します。そして、調査書、学力検査の成績及び面接等各高等学校が必要に応じて実施した検査の結果等を資料として総合的に判定します。

学力検査において、国語の聞き取り検査、英語のリスニングテストを実施します。

(1) 各高等学校が必要に応じて実施する検査の内容

各高等学校は、必要に応じて面接等の検査を実施します。各高等学校において実施する検査は別表のとおりです。

ア 各検査を実施する学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

後期選抜で必要に応じて実施する検査内容	全日制の課程 128校209学科 (128校208学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
面接	93校151学科 (95校154学科)	17校20学科 (17校20学科)
作文	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
適性検査	5校 5学科 (6校 6学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
その他の検査	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

イ 実施する検査の数

() は昨年度のデータ

後期選抜で必要に応じて実施する検査の数	全日制の課程 128校209学科 (128校208学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
一つの検査	93校150学科 (96校154学科)	17校20学科 (17校20学科)
二つの検査	4校 4学科 (4校 4学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

一つの学校で学科により検査の数が異なる学校が4校(3校)あります。

3 海外帰国生徒の特別入学者選抜(全日制の課程)

この選抜においては、調査書等の書類の審査及び各高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

(1) 実施する学校・学科 () は昨年度のデータ

全日制公立高等学校 20校27学科(20校27学科)

(2) 各高等学校の検査の集計 () は昨年度のデータ

面接	18校24学科	(17校22学科)
集団討論	0校 0学科	(0校 0学科)
自己表現	4校 4学科	(4校 4学科)
作文	5校 8学科	(5校 8学科)
小論文	0校 0学科	(0校 0学科)
適性検査	0校 0学科	(0校 0学科)
学校独自問題による検査	0校 0学科	(2校 3学科)
その他の検査	0校 0学科	(0校 0学科)

4 通信制の課程の入学者選抜 一期入学者選抜

通信制の課程においては、一期から五期に分けて入学者の選抜を実施します。この選抜においては、調査書、志願理由書等の書類の審査及び高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

(1) 実施する学校・学科

県立千葉大宮高等学校普通科

(2) 一期入学者選抜枠

選抜枠は、募集定員から、通信制の課程の入学者選抜五期（秋季入学）入学者選抜の募集人員（募集定員の10%程度）を減じた人数の50%程度

(3) 検査の内容

面接及び作文

5 地域連携アクティブスクールの一期入学者選抜及び二期入学者選抜

地域連携アクティブスクールに指定された高等学校においては、前期選抜及び後期選抜と同じ日に一期入学者選抜及び二期入学者選抜を実施します。この選抜においては、調査書、志願理由書等の書類の審査及び高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

(1) 実施する学校・学科

県立泉高等学校普通科、県立天羽高等学校普通科

(2) 一期入学者選抜枠

県立泉高等学校普通科 70%、県立天羽高等学校普通科 80%

(3) 検査の内容

ア 一期入学者選抜

(ア) 県立泉高等学校 第1日 学力検査（国語、数学、英語）と作文

第2日 個人面接（自己アピールを含む）

(イ) 県立天羽高等学校 第1日 学力検査（国語、数学、英語）と作文

第2日 自己表現と面接

イ 二期入学者選抜

(ア) 県立泉高等学校 学校独自問題による検査（国語、数学、英語）と

個人面接（自己アピールを含む）

(イ) 県立天羽高等学校 口頭試問と面接

6 各検査の内容の概略

(1) 面接

学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは、一般常識等を問う検査。

(2) 集団討論

複数の受検者に対して、同一のテーマを与え、司会者を定めずに自由に討論をさせる検査。

(3) 自己表現

決められた時間内において、あらかじめ提出された受検者のテーマに従って発表をする検査。

(4) 作文

指示された題名のもと（自由に書かせることを含む。）に文書を作成させる検査。

(5) 小論文

ある文章を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等をみる検査。

(6) 適性検査

学校・学科の特色に応じて行う実技等の検査で、運動能力に関する検査、各学校が指定する内容に関する検査等。

(7) 学校独自問題による検査

基礎・基本の定着をみる問題（別表では「基礎」と表記。）、思考力・応用力をみる問題（「応用」）又は教科横断的な総合問題（「総合」）による検査。

(8) その他の検査

(1)～(7)以外で、あらかじめ学校が示した方法による検査。

例

- ・聞き取りによる、日本語能力や基礎学力等の検査（聞き取り総合テスト）。
- ・集団に課題を与えて、活動を観察する検査（集団適性検査）。
- ・リスニング形式による、社会への関心度や一般常識をみる検査（リスニングによる学校適性検査）。

平成26年度千葉県公立高等学校入学者選抜における
学力検査の実施教科及び出題方針について

1 実施教科

(1) 前期選抜

国語, 数学, 英語, 理科, 社会(各教科50分, 100点満点)

※国語の問題は, 放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は, 放送によるリスニングテストを含む。

(2) 後期選抜

国語, 数学, 英語, 理科, 社会(各教科40分, 100点満点)

※国語の問題は, 放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は, 放送によるリスニングテストを含む。

2 出題方針

(1) 国語

ア 学習指導要領に基づき, 3領域(「話すこと・聞くこと」, 「書くこと」, 「読むこと」)の基礎的・基本的な力がみられるようにする。

イ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]の基礎的・基本的な力がみられるようにする。

ウ 様々な文章について, 内容を的確に理解し, 書き手の伝えたいことなどを考察する力がみられるようにする。

エ 与えられた材料について, 自分の言葉で考えを適切にまとめたり, 相手に的確に伝えたりする力がみられるようにする。

(2) 数学

ア 学習指導要領に基づき, 数学の基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにする。

イ 多面的にものを見ることや論理的に考えることの基となる, 数学の理解力がみられるようにする。

ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力がみられるようにする。

エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力がみられるようにする。

(3) 英語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的、基本的な知識や技能を、全領域にわたり身に付けているかがみられるようにする。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などがみられるようにする。また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力がみられるようにする。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握する力、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力がみられるようにする。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力とともに、条件作文の中で、英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力がみられるようにする。

(4) 理科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題する。
- イ 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにする。
- ウ 科学的な見方や考え方を身に付けているかがみられるようにする。
- エ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果を表現する力がみられるようにする。
- オ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力がみられるようにする。

(5) 社会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果が総合的にみられるようにする。
- イ 基礎的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにするとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度がみられるようにする。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力がみられるようにする。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力がみられるようにする。